



中央図書館横に 巨大とうふ出現!?

中央図書館のとなり、巨大なとうふのような四角い白い建物は、もうすぐ運用が始まるまったく新しい書庫です。書庫と言っても普通の書棚が並んでいるのではなく、物流倉庫のように、コンテナケースに本が詰められて、びっしり隙間なく積み上げられます。自動書庫と呼び、80万冊の収容力があります。

コンピュータの画面で指示すると、本が書庫の中からでてきます。人間は本に近づくことはできません。どの本がどこにあるのか知っているのはコンピュータだけです。

中央図書館では地下の書庫にもこの自動書庫を増設し、合わせて87万冊の高性能書架の運用がまもなく始まります。



芥川賞受賞 小山田 浩子さん著作展示

Akutagawa Prize
Hiroko Oyamada's book display



中央図書館と西図書館において、第150回芥川賞を受賞された、本学文学部卒業生の小山田浩子さんの著作展示を行っています。受賞作の「穴」・「工場」のほか、著作が掲載された雑誌および、受賞の新聞記事・インタビューが掲載された本学広報誌などを手にとってご覧ください。

おしゃらせ

4-5月、図書館オリエンテーションを実施 ◀全館

新入生の皆さんへ、図書館の活用術や情報収集の基本をお伝えします。図書館を使って、充実した学習・研究生活を送りましょう！詳しい日程は、図書館ホームページ等でお知らせします。

4/9(水)より、ライティングセンター営業再開! ◀全館

WRC（ライティングセンター）は、もう利用しましたか？ “レポートを書く際、頭の整理がつかない” “一旦文章を書いたけれど、しっくりこない” 等、文章に悩んだら、まずはWRCへ来てください。利用すれば、何らかの“気づき”が得られるはず。

詳しくは HP→<http://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc/>

●広大図書館のマーク登場

ウェブサイトリニューアルを機に、図書館の新しいロゴマーク、ロゴタグが決まりました。



Hiroshima University Library の頭文字で本をつくりました。特に「L」の字が本の小口部分を金色に形づくっているのが特徴です。これから、使用場所などにあわせて、色などパターンを使い分けていきます。いろんな広大図書館を見つけてくださいね。

広島大学図書館
Hiroshima University Library



東広島の春は寒い！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
私自身も広大OBです。

広大に入学した当時、東広島キャンパスの春の寒さは多くの新入生に衝撃を与えたものでした。(広島市内のキャンパスは通常モードの「春」だったのですが。)

新入生一同が想像していた「春」とは大きく違っていたため、入学した学科では、慌ててユニフォームに冬服を買いに走る人、テーブルに毛布をかけて即席コタツを作ることが続出…。職員となった今でもこの寒さに慣れません。

皆さんも、風邪など引かないように気を付けてください。

さて、広島大学では、皆さんにさまざまなサービスが提供されています。

私の学生の頃より随分と手厚くなつたように感じます。

ぜひ一度図書館に来て、積極的にサービスを活用してください。



図書学術情報企画グループ 立目

編集後記

新生活が始まる春ですね！ 慌ただしい日々になるかと思いますが、そんな時こそちょっと読書で一息入れてみて下さい。生活の余裕と知識と、ついでに新しく知り合う人との会話のネタも手に入る、はず！(N)

みんと7号 平成26年4月1日発行 広島大学図書館 〒739-8512 東広島市鏡山1-2-2